

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	STEPたくみ(児童発達支援)		公表日		2026年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		作業療法士による訓練室と机上課題を実施する部屋を別に用意しており、一人ひとりのスペースを確保できている	これまで通り、実施していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		直接支援のすべての職員を有資格職で配置している。急な職員の欠席の際は、近隣の児童デイサービスたくみの職員に配置を依頼し対応している	これまで通り、作業療法士と保育士を中心とした支援を実施していく。急な職員の欠席（インフルエンザ）などが生じると職員の負担が大きくなる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内はバリアフリーになっており、構造化された環境を設けている。室外のエレベーターやエスカレーターがない点については、職員が迎えに行く対応をとっている	これまで通り、視覚支援や構造化を意識した支援を提供していく。室外にエレベーターやエスカレーターがない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		視覚的にわかりやすい環境を設定して、衛生面・安全面には特に気をつけている。CO ₂ メーターでの換気や消毒、定期的な遊具点検をおこない、快適な空間の提供を心がけている	これまで通り、視覚支援や構造化を意識した支援を提供していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーテーションの設置や、課題部屋と運動部屋を区切るなど、個別対応をしている	子どもに合わせて環境設定をできるようにする
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		各職員が個別支援計画を作成し、児の現状把握を行い、会議やミーティングで共有して振り返りを行っている	これまで通り具体的な目標を設定し、取り組んでいく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さま向け評価表により、保護者さまに対して事業所の評価を実施し、職員内で共有している	保護者さまの意向等を把握し、業務改善につなげている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や事業所内研修において、結果の振り返りやケース検討を行い、改善に活かすことができるように工夫している	朝礼や会議等で共有し、すぐに改善へ動いていることが多い
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施していない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内でも研修をおこない、外部の研修会の案内は全職員に到達し、興味のある研修会への参加を促している	オンライン受講など、施設の空き時間を利用し、職員が施設内でも受講できるよう配慮する
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和6年度の改正に基づき、個別支援計画にも反映させて周知をおこなっている	これまで通り具体的な目標を設定し、取り組んでいく
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援計画書作成前にアセスメントを行い、今後の課題を見直し、療育へ反映している	これまで通り具体的な目標を設定し、取り組んでいく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各職員が、個別支援計画を作成する機会があり、お子さまの現状把握を行い、子どもの支援に対して共通理解を図っている	療育の振り返りをおこない、領域ごとに個々の子どもに合う課題を設定している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容は、会議や療育にあたり職員内で共有できている。個別支援計画に基づき、個別課題を設定し実施している	これまで通り実施していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査や支援会議などの意見をもとに、様々な場での適応行動を考えられるようにしている	これまで通り実施していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域の本人支援をベースとして、ガイドラインに沿って、個々の子どもに合った具体的に支援内容を設定している	療育の振り返りをおこない、領域ごとに個々の子どもに合う課題を設定している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当職員が立案し、記録による情報共有とともに、個別支援計画に沿った療育を話し合い取り組んでいる。また、保護者様の困りごとを療育の内容に取り入れるように意識している	これまで通り実施していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		課題は、個々のレベルに合わせて、領域ごとに職員が課題内容を設定している	引き続き、連絡ノートや個別支援計画で共有化を図る。保護者様への申し送り時に、お子さまの取り組みの様子を具体的にお伝えしていく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別療育で実施している	これまで通り実施していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日朝礼時に日の支援内容や役割を共有している	これまで通り実施していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後や翌日の朝礼で、振り返りと気づいた点などの情報の共有化を行っている。月1回の職員会議において、情報の共有化を図っている	これまで通り実施していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日案、個々の記録は滞りなく実施している	これまで通り実施していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月ごとに個別支援計画を作成し、その際にモニタリングを実施して見直しをしている	個々の状況や時期に応じて、臨機応変に対応していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者または療育担当者ができる限り参加している	できる限り参加できるように、時間調整を行う
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	地域の保健では、当施設職員が一部直接関わっている。関係機関とは、モニタリング時の連絡などにより連携を図っている	他機関と顔の見える連携が取れるように、引き続き取り組む
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者さまをとおして個別支援計画書等情報を共有し、担当者会議がある場合には、参加し情報共有をしている。参加できない場合は、相談支援専門員にケースの現状をお伝えしている	要請があればすぐに対応できるように、情報共有と相互理解を図る
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保護者さまをとおして情報を共有し、担当者会議がある場合には、参加し情報共有をしている。参加できない場合は、相談支援専門員にケースの現状をお伝えしている	要請があればすぐに対応できるように、情報共有と相互理解を図る
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	わかば園の公開療育や研修への参加をしている。必要に応じて連絡をとり、利用児の様子を共有している	他機関と顔の見える連携が取れるように、引き続き取り組む
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	機会はない	個別支援中心のため、地域との交流が少ない現状にある
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡ノートを媒介として、職員が今日の様子を記録し、保護者さまは、気になることなどを記載いただいている。来所時にはお子さまの様子を確認し、療育内容を伝える中で共通理解を図っている	これまで通り実施していく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族参加の研修は実施していないが、感覚統合やTEACCHの説明は、見学时や来所時にお伝えし、個別にフィードバックをおこなっている	これまで通り、当施設の個別支援を活かす方向で実施する	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	利用開始時に丁寧に説明し、状況に応じて追加説明をしている	引き続き、丁寧にお伝えしていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	子どもや保護者へのアセスメントをとおして、意向を確認している	これまで通り実施していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	まずお渡しして書面に確認していただき、不明な点を詳しく説明するようにしている。その後、同意をとっている	これまで通り実施していく

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		連絡ノートでのやりとりや、来所・見学時に対応している。落ち着いて話をした方が良い場合は、1時間の枠を取り、別途面談を実施している	これまで通り実施していく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	実施していない	良い面と悪い面があるとこれまでの経験で感じているため、実施予定はない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達支援管理責任者や療育担当者が対応している。都度、申し出があれば対応する	早期解決に向け、連絡・調整を行い、必要に応じて面談を実施する
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回通信を発行し、行事予定や運動プログラムの情報を発信している	これまで通り実施していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報について同意をいただき、個人情報の保護や匿名化について、施設内で徹底している。また、個人情報が記載されている書面は、鍵のついた保管庫で管理している	これまで通り、取り扱いについて厳重に配慮する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまには、視覚的にわかりやすい方法で伝えるように心がけている。保護者様には、連絡ノートや、別室での説明対応等の配慮をしている	わかりやすいように引き続き視覚支援を中心に伝達していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	実施していない	希望をされない保護者さまもおられるので、実施予定はない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防犯のため、セコムを導入している。職員内ではすべて周知徹底しているが、保護者への周知は、必要に応じて掲示している	各マニュアルの変更に随時対応し、最新のものをお伝えできるようにする。防犯マニュアルはない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP委員会が主催し、非常災害と感染症の発生に備えた研修や訓練をおこなっている	定期的に必要な研修及び訓練をおこなっていく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に確認し、状況に応じて適宜対応している	利用途中からでも変更があるため、連絡ノートを通して伝達いただけるよう、事前に保護者さまへ伝えておく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		個包装のおやつのみ提供しているため、リスクは低いと考える。事前に保護者からアレルギーを聴取しているが、医師の指示書による対応はない	毎日の朝礼で、おやつ提供に関するアレルギーのある子どもについて確認をおこなっている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度ごとに安全計画を作成し、定期的に安全点検をおこない、ヒヤリハットの共有をしている	必要な安全管理につながる支援を、実施していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時対応の見直しなど、変更が生じる場合は配布や掲示により説明をおこなっている	子どもに合わせて連携して対応できるように、安全確保に努めていく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月1回の職員会議で、その月のヒヤリハットはすべて再度確認している。これまでの事例は、職員室内の本棚に誰でも閲覧し共有できる	これまで通り実施していく
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内研修で、虐待防止に関する研修を実施している。委員会にて適宜状況の確認を行っている	これまで通り実施していく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事業所内研修で、身体拘束に関する研修を実施している。該当者はいないため、計画には記載していない	これまで通り実施していく	